



PRESS RELEASE (2011/09/13)

**「ICTで母子に届ける手頃で身近なヘルスケアサービス」ワークショップ開催
～社会的課題をビジネス手法で解決、議論・模索する場を提供～**

概要

九州大学 ポータブルクリニック研究会(代表 同大大学院システム情報科学研究院 准教授 アシル・アハメッド) ならびに一般財団法人グラミン・テクノロジー・ラボ(代表理事 安浦寛人)は、この度、開発途上国の母子保健の問題を認識し、新たな技術やサービスの創造について考え、社会的課題をビジネスで解決するソーシャル・ビジネスとしての展開を議論する場を広く提供すべく、ワークショップ「ICTで母子に届ける手頃で身近なヘルスケアサービス」(連続講座全3回)を開催します。

ワークショップでは、大学・企業より、保健医療、情報通信技術(ICT)を活用した医療連携の推進、ヘルスケア分野技術開発、開発途上国の現場・現状に詳しい専門家を招き、これら貴重な現場情報の共有をもとに、多様な分野からの参加者同士が、議論、アイデア抽出をとおして問題解決のためのソーシャル・ビジネスを考案し、検討・構築するための契機とします。

最終的には専門家のサポートを通してビジネスを具現化していくことを目標としています。

■背景

2015年を達成目標とする国連ミレニアム開発目標(MDGs)の中で、乳幼児死亡率の削減と妊産婦の健康改善の達成が危ぶまれ、妊娠や出産が原因で、世界では、毎日1,000人以上の母親が命を失っています。これらを踏まえ、九州大学(ポータブルクリニック研究会)、ならびにグラミン・テクノロジー・ラボでは、各分野より専門家を招き、早急に解決されるべき当課題について、大学・企業・NGO/NPOなどの異業種からの参加者同士が解決手法を議論、模索する場を提供すべく連続ワークショップを開催します。

第1回目となる今回のワークショップでは、開発途上国における母子保健の現状を把握しながら、様々な課題を整理し、ニーズの仮説を立てます。

今後の展開については、第2回:コンセプト構築と具体策(11月予定)、第3回:ビジネスモデル模索(2012年2月予定)を予定しています。

また、ポータルクリニック研究会、グラミン・テクノロジー・ラボは、今後もソーシャル・ビジネスの普及推進拠点であるグラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学(GCL@九大)と連携し、ソーシャル・ビジネスのハブとして、様々なソーシャル・ビジネスに関する情報発信を行っていく予定です。

■開催概要

ICTで母子に届ける手頃で身近なヘルスケア～第1回 ワークショップ～

日時:2011年9月24日(土)10:30～17:30

会場:九州大学医学部 百年講堂 2階 会議室1(福岡市東区馬出3-1-1)

定員:30名(※定員になり次第締め切らせていただきます)

対象者:医療機器・医療情報・妊産婦保健など医療に係る方、その他、国際保健分野に興味のあるNGO/NPO・研究者・企業の方など。

参加費:3000円(※3回分一括は8000円)※参加費用は前払い

主催:九州大学 ポータブルクリニック研究会

一般財団法人 グラミン・テクノロジー・ラボ

共催:グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学

■プログラム

【講演】 「保健医療におけるセンサーネットワークと、母子保健への応用」
(九州大学病院 准教授/医病医療連携センター 副センター長 中島 直樹)

【事例紹介】 「開発途上国における母子保健医療の現状：バングラデシュ予備調査報告」
(インフィニートラボ 小野寺 トモ 氏)
「開発途上国における保健医療の現状」(九州大学 大杉 卓三)
「ホームケアにおけるヘルスケアサービスの開発課題」
(パナソニックヘルスケア株式会社 江本 文昭 氏)

【ワークショップ】 「ICTで母子に届ける手順で身近なヘルスケアサービス」

■参考

九州大学 ポータブルクリニック研究会

九州大学・グラミン共同研究プロジェクト「開発途上国の社会情報基盤構築」を率いる九州大学大学院システム情報科学研究院アシル・アハメッド准教授（バングラデシュ出身）を中心に有志で結成した研究会。保健医療にアクセスが困難な人々を対象に手順で身近な保健医療の提供を実現するための新たな技術やサービスの実現、ソーシャル・ビジネスとしてのモデル構築を目指しています。

一般財団法人グラミン・テクノロジー・ラボ

2010年12月24日設立。2006年ノーベル平和賞受賞者であるムハマド・ユヌス博士が提唱するソーシャル・ビジネスの普及と実施支援に寄与することを目的としその目的に資するため次の事業を実施しています。

- ① グラミン・ファミリーと連携した技術開発型ソーシャル・ビジネスの検討および促進
- ② 会員相互の連携強化およびソーシャル・ビジネスに関する会員相互の情報交換
- ③ 会員が実施するソーシャル・ビジネスに関する広報
- ④ ソーシャル・ビジネスに関するセミナー、シンポジウム、研修等の実施とマネジメント
- ⑤ 前述関連事業

グラミン・テクノロジー・ラボは、企業、大学、政府と連携し、社会のニーズに基づく多様な研究開発を進め、そこから生まれる製品やサービスの普及をソーシャル・ビジネスをとおして行うことにより新たな社会創造を目指します。九州大学理事・副学長である安浦寛人が代表理事を務め、同大教授であり、GCL@九大 エグゼクティブ・ディレクターの岡田昌治が理事のひとりとして GCL@九大との協働による、ソーシャル・ビジネスの更なる普及に努めています。

グラミン・クリエイティブ・ラボ@九州大学 (GCL@九大)

九州大学は、開発途上国のニーズを基にした大学が持つ研究リソースのカスタマイズとその普及を通し国際貢献を積極的に推進するだけでなく、将来の社会を考え、創り上げ、そこで活躍できる人材の育成を進めています。そのハブとなるのが GCL@九大です。GCL@九大は 2009 年にグラミン・ファミリーと九州大学が締結した MOU を基に 2010 年 3 月に設立されました。GCL@九大は、グラミン・ファミリー、企業、NGO/NPO、大学、政府機関と連携し、ソーシャル・ビジネスについての研究、教育、インキュベーションと普及を積極的に進めています。

【お問い合わせ】

グラミン・クリエイティブ・ラボ@九大 (担当:田中)

電話：092-642-2744

FAX：092-642-2747

Mail：info@gcl.kyushu-u.ac.jp